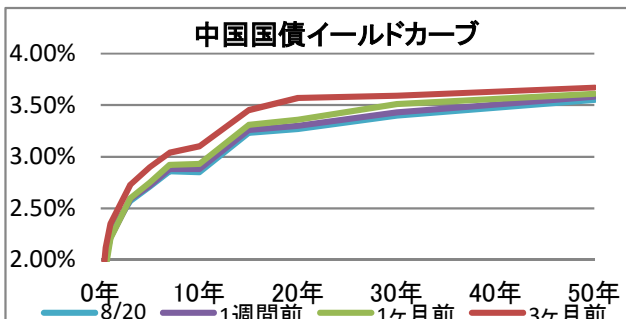
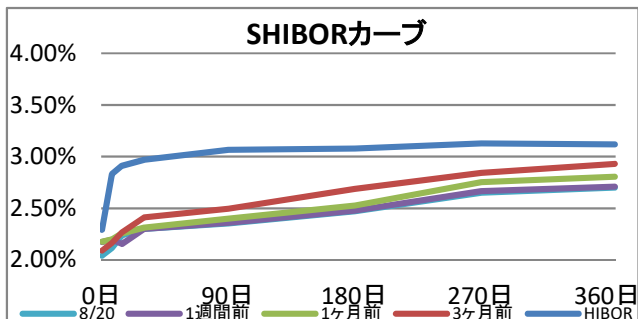


## ①市場概況

基準レート		2021/8/20	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4984	0.0185
	JPY/CNY	5.9195	0.0491
SHIBOR	3M	2.3530%	-0.0060%
国債利回り	10年	2.85%	-0.03%
上海総合指数		3,427.33	-88.97



### (1) 概況

新型コロナウイルス感染再拡大の影響やアフガン情勢に加え、米国でのテーパリングへの懸念の高まりから弱気な展開が続いていたものの、ジャクソンホールでの経済シンポジウムを翌週に控え、ボストン連銀総裁が新型コロナウイルス再拡大の影響如何で早期にテーパリングを開始すべきとの見解を見直すと発言したことが伝わると調整から買戻される展開となった。

中国金融市場においても、新型コロナウイルス感染再拡大や規制強化による景気悪化への懸念が高まり、株式市場は再度下落に転じたものの、地方債増発懸念から債券利回りの低下は限定的となった。

李克強総理は国務院常務会において複雑化する経済環境への複数年単位の政策対応を再度強調し、習近平主席は中央財經委員会において経済格差縮小と金融のリスク防止と安定発展についての検討を指示し、その後に中信集団等による中国華融資産管理の救済が決まっている。また、国務院常務会が反外国制裁法の香港への適用を見送ったと報じられている。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元、MLF期日7,000億元に対し、新規リバースオペ500億元と新規MLR6,000億元を実施し、差額1,000億元を吸収。MLFの減額は、預金準備率引き下げ（前月）と地方債増発を考慮した結果であり、減額幅は市場予想を下回っている。また、中国人民銀行はLPR（1年3.85%、5年以上4.65%）を16ヶ月連続で据え置いている。

### (3) 主な経済指標

・小売売上（7月）は前年比+8.5%（6月+12.1%）と4ヶ月連続で増加幅が縮小している。飲食の回復は続いているものの、商品販売では価格要因から石油等は大幅増加となる一方で自動車が減少し、その他も減速が目立つ内容。

・鉱工業生産（7月）は前年比+6.4%（6月+8.3%）と減速傾向が強まっている。政策支援を背景に産業用ロボットや電気自動車が高い伸びとなる一方、セメント等のインフラ関連、自動車、携帯電話等は前年比で減少している。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0420%	2.0500%	2.0600%	
1W	2.1150%	2.1500%	2.2000%	1.8000%
2W	2.2350%	2.2500%	2.3000%	2.0000%
1M	2.3000%	2.8000%	2.3500%	1.9800%
3M	2.3530%	3.7000%	3.1000%	2.2800%
6M	2.4720%			2.5200%
9M	2.6500%	3.3000%	3.0000%	2.5800%
12M	2.7000%			2.6650%

中国人民銀行の市場調節は、リバースオペは中立ながら地方債増発による需給悪化も懸念される中でMLFの減額幅が予想を下回ったことから安堵する声も聞かれたが、資金需給はややタイトな状況となっている。ターム物の出合いは1ヶ月（2.3%前後）を除き限定的。

NCDは、資金需給がタイトになる中で取引がやや低調となったものの、長めの期間が活発な状況に変化はなく、金利水準も小幅ながら低下を続けている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.98%、3ヶ月物は2.28%、6ヶ月が2.52%、1年が2.66%を中心に取引されている。

### (2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.20%	0.23%
6M	0.28%	0.30%
12M	0.33%	0.35%

資金需給に大きな変化はなく、ターム物は、1ヶ月では0.10%、3ヶ月は0.20%、6ヶ月が0.30%前後での取引が続いている。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.93%	2.09%	2.34%	2.41%	2.75%
6M	1.96%	2.15%	2.46%	2.57%	2.91%
1Y	2.27%	2.35%	2.62%	2.65%	3.00%
3Y	2.57%	2.76%	2.91%	3.03%	3.77%
5Y	2.71%	2.95%	3.25%	3.36%	4.25%
10Y	2.85%	3.18%	3.58%	3.69%	4.58%

債券市場では、国内外の経済状況の不透明感やMLFの減額が小幅にとどまったことから利回りは低下に転じたものの、地方債の増発が続いて足下の金利需給に懸念が高まりつつあることから低下幅は限定的。

イールドカーブは、先物主導で国債を中心に小幅に低下しているものの形状に変化はなく、クレジットスプレッドは利率債利回り低下により小幅ながら拡大に転じている。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.4 / 28.5
1M	137.0 / 137.3
3M	424.0 / 425.0
6M	847.0 / 848.5
9M	1212.0 / 1218.0
12M	1583.0 / 1585.0

対ドル基準レートは、6.4984と前週末比+185pipsのドル高元安、対円基準レートは5.9495と同+491pipsの円高元安と、人民元指数が5年半来の高水準となっていたこともあり、米国でのテーパリング懸念に伴うドル買いを映じてやや元安に戻した設定となっている。国内市場ではドル高を映じて6.47台からじりじりと上昇を続け、米FOMC議事録を受けて6.5台に上昇して週末を迎えている。

先物は、国外からの投資資金流入減少や直物市場の値動き、米ドル金利上昇懸念と人民元金利の小幅低下等により、小幅な値動きが続く中で1年物が1,580程度まで小幅に縮小している。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.26%		2.08%
6M	2.29%	2.48%	2.09%
9M	2.30%	2.53%	2.09%
1Y	2.32%	2.58%	2.09%
3Y	2.50%	2.86%	2.33%
5Y	2.68%	3.10%	
7Y	2.82%	3.27%	
10Y	2.97%	3.44%	

スワップ金利は、短期の基準金利と債券利回りがともに低下に転じたことから全期間で小幅ながら低下している。ただし、変動幅は限定的でカーブ形状に変化はなく、債券利回りとの金利差にも大きな変化はなかった。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。